



7月包装情報ステーション 第2部 パンフレット

■開催概要

会 場：公益社団法人日本包装技術協会 会議室 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

日 時：2019年7月25日(木) [前半] 14:00～15:15

[後半] 15:30～16:45

参加費：JPI法人・個人会員：無料／一般：3,240円(1部会、税込)

前 半 14:00～15:15

テーマ 食品産業におけるプラスチック資源循環に向けた取組

講 師：農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品産業環境対策室長 **野島 昌浩氏**

要 旨：近年、国内外で海洋プラスチックごみが問題となるなど、プラスチック資源循環のあり方が注目されています。このような中で、食品容器包装をはじめ、消費者に極めて身近なプラスチック製品を利活用している食品産業においても、その対策に取り組んでいく必要があります。

今回のセミナーにおいては、我が国におけるプラスチックの現状、「海洋プラスチック対策アクションプラン」や「プラスチック資源循環戦略」といった政府としての対応を踏まえつつ、食品産業における企業や団体における取組を紹介し、今後の容器包装を考える端緒とします。

後 半 15:30～16:45

テーマ JIS Z 1707食品包装用プラスチックフィルム通則改正及び 実際の食品包装用プラスチックフィルムの品質保証について

講 師：凸版印刷株式会社 経営企画本部 部長 **坂巻 千尋氏**

要 旨：JIS Z 1707「食品包装用プラスチックフィルム通則」は、昭和50年3月1日に初めて制定された後、平成7年12月1日に国際単位系(SI)をJISに導入する為に改正され、引き続き平成9年9月20日に当時の食品包装用資材の実際の取引状況、関連する国際規格及び国内規格を考慮して改正されました。この規格は、食品用途に必要なプラスチックフィルムの種々の性能を、材料供給者と使用者との間で適切に評価するために必要な共通事項を規定した重要な規格です。

今回の改正では、プラスチックフィルムの性能評価の精度向上が可能になり包装材料取引時のトラブルが軽減出来る様に、記載項目の見直しが行われました。

本講演では、これらの改正の背景と、ポイントを御説明し、併せて、実際の取引環境での品質保証項目をご紹介します。多くの関係者がこの規格を活用する事で、内容物である食品とプラスチックフィルムの適正使用により、食品包装の品質、品質保証の向上に繋がる事を期待致します。

7月包装情報ステーションの参加申し込み方法について

2019年度より、当会研究会のお申し込みを、ホームページからのみの受付とさせていただきます。
お手数でございますが、当会ホームページをご覧の上、研究会お申し込みページより、
参加登録を頂きたいようお願い申し上げます。

URL:<http://www.jpi.or.jp/index.html>